

ESG投資の隆盛に伴う資本市場の課題 —ESG情報開示の進展とESG評価機関の不一致—

松田 千恵子 CMA・CIIA
浅野 敬志

目次

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. はじめに | 4. ESG情報開示とESG評価機関の不一致 |
| 2. ESG評価機関における評価の現状 | 5. おわりに |
| 3. ESG評価機関の評価手法の差異 | |

近年、ESG (Environment (環境)、Social (社会)、Governance (ガバナンス)) 投資は、資本市場の大きな潮流となっており、ESGに対する取り組みやその効果、情報開示状況といった様々なパフォーマンスをESGスコアといった形で第三者として提供するなどの機関、いわゆるESG評価機関の動きも活発化している。しかるに、ESGスコアについてはその評価内容や水準に関して、各評価機関間でかなりの不一致がみられる状況にある。本稿では、わが国で取得可能な主要ESG評価機関によるESGスコアとその不一致の度合いを検証するとともに、企業の情報開示が充実するに従い、ESG評価機関間における評価の不一致が小さくなっていることを明らかにする。

1. はじめに

近年、ESG (Environment (環境)、Social (社会)、Governance (ガバナンス)) 投資は、資本

市場の大きな潮流となっている。それとともに、ESG投資を行うに当たって、そのパフォーマンスはどのようなものであるのか、パフォーマンスをどのように評価するのか、また企業においてはそ



松田 千恵子 (まつだ ちえこ)

東京都立大学経済経営学部教授、東京都立大学大学院経営学研究科教授。筑波大学大学院企業科学研究科博士後期課程修了、博士 (経営学)。日本長期信用銀行、ムーディーズジャパン 格付アナリスト、コーポレートディレクション、ブーズ・アレン・ハミルトン パートナーを経て現職。主な著書に、『グループ経営入門 (第4版)』(税務経理協会、2019年)、『サステナブル経営とコーポレートガバナンスの進化』(日経BP社、2021年)、『事業ポートフォリオマネジメント入門』(共著、中央経済社、2022年) などがある。



浅野 敬志 (あさの たかし)

東京都立大学経済経営学部教授、東京都立大学大学院経営学研究科教授。慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学、博士 (商学・慶應義塾大学)。首都大学東京准教授などを経て現職。日本銀行金融研究所客員研究員、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員などを歴任。主な著書に、『会計情報と資本市場—変容の分析と影響—』(中央経済社、2018年)、『ESGカオスを超えて—新たな資本市場構築への道標—』(共著、中央経済社、2022年) などがある。